

投稿年月日	令和 3 年 10 月 25 日	投稿者	市内在住 男性
ご意見・ご提案 内 容	有家川をまたぐ橋が 2 か所にわたり未だに通行不能である。そこで、この際長崎県の援助を仰ぎ雨でも壊れない様な強固な橋を建設すべきだろう。		
回 答	ご提案いただいた「久保潜水橋」・「亀渕潜水橋」については、8 月 13 日に大雨による被災により流出したことを確認いたしました。 大雨による橋梁の被災については、通常は国庫補助を受けて災害復旧事業を行います。この場合は、被災以前の規格でしか復旧工事ができません。（原形復旧） この橋梁については、長崎県が管理する 2 級河川有家川に架かる橋梁であるため島原振興局と協議を行いましたが、原形復旧では再度被災と河川氾濫等の安全上の懸念があり簡単には容認できないとの回答でした。 地元自治会長への聞き取り調査も行いましたが、利用者が多数おり自治会長の意見だけではなく地元住民を参集しての意見交換会をしてはどうかとの提案をいただきました。 被災当時はコロナ禍ということもあり大人数での意見交換会の開催ができませんでしたので、今後、意見交換会を開催し地元の意見を聞きながら被災した 2 橋の対応について検討していきたいと考えております。		
担当課	建設課		